

X50Pro_R1466 ファームウェアリリースノート

- ① 公開日:2019年5月15日
- ② 更新されたファームウェアのバージョン:R1466
- ③ R1203からR1466に更新された内容は下記の通りです。

A. 新しい機能

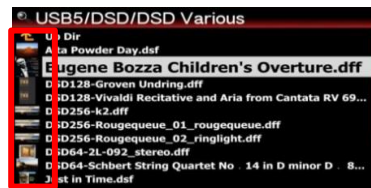
1 MusicDB、プレイリスト、iサービス、ブラウザのテキストリストにサムネイルカバーアートを追加しました



[MusicDB]

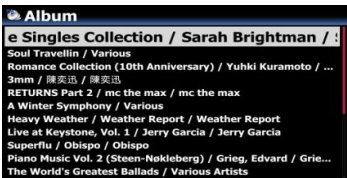
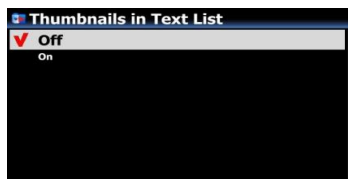
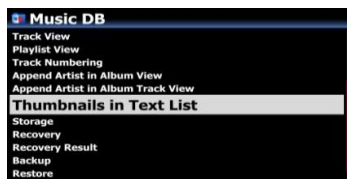


[i-Service(TIDAL)]



[Browser]

2 テキストリストのサムネイルカバーアートを有効/無効にするオプション



各テキストリストの先頭にあるサムネイルを有効/無効にするオプションがSETUPに追加されます。

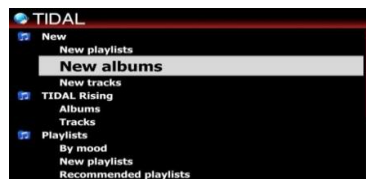
※ 初期設定: OFF

※ 注意: このオプションがONに設定されていて、サムネイルが表示されている場合、画面上の動きが少し遅くなります。

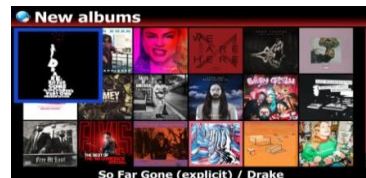
※ このオプションはインターネットサービスおよびブラウザでも利用可能です。

3 このオプションは、インターネットサービスおよびリモートコントロールのTEXT / ARTキーを切り替えるブラウザにも使用できます

<TIDALを例にとると>



[Text]



[Tiny]

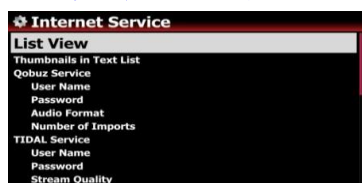


[Small]

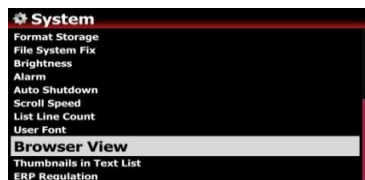


[Big]

この場合、以下のようにSETUPメニューで設定できます。



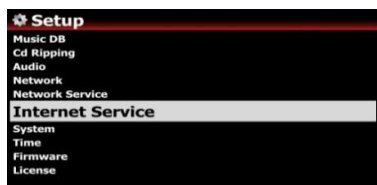
- 1) i-Services の場合 SETUP > Internet Service > List View で変更できます。



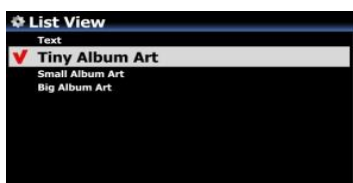
2) Browser の場合 SETUP > System > Browser View で変更できます。

4 Qobuzでロードするトラック数を指定するユーザーオプション

今までは再生開始時に50曲だけをロードしていましたが、ロードするトラック数を設定できるように、SETUPにユーザーオプションを追加しました



5 インターネットサービスのテキストモード/カバーアートモードを変更するオプション



インターネットサービスのテキストモードまたはカバーアートモードとして設定するために、SETUPにOptionを追加しました。

※ 初期設定: Text mode

※ リモコンのTEXT / ARTキーでこのオプションを切り替えることができます。

※ このオプションはブラウザモードでも利用可能です。



6 録音機能はCAF (Core Audio Format)に変更

Digital In、AUX In、Analog Inなどを介した録音機能に使用されていたWAVファイルフォーマットは、4GBに制限されていたが、録音用のファイル形式をCAF (Core Audio Format) に変更しました。ファイルサイズに制限はありません。

7 もう1つのオーディオフォーマット、CDリッピング用のCAFを追加しました

CDリッピングの際に、CAFも選択できます。

※ CAF、AIFFまたはWAVフォーマットでCDリッピングをする場合、リッピングされたファイルはバックグラウンドの変換プロセスなしで現状のまま保存されます。

8 リプレイゲイン機能

8-1 リプレイゲイン機能とは

個々のトラックやアルバムの音量を均等化し、正規化することを可能にします。異なる音量レベルでマスタリングされたアルバムからオーディオファイルを再生するときにトラック間の音量レベルを手動で調整する手間を省きます。

8-2 前提として

1) 再生機能は、ローカルHDD (MusicDB、ブラウザ)、USB、およびNET (NAS : ネットワーク接続ストレージ)に保存されている音楽ファイルに有効です。

2) セットアップ(セットアップ>オーディオ>リプレイゲイン)でリプレイゲインをオンに設定する必要があります。

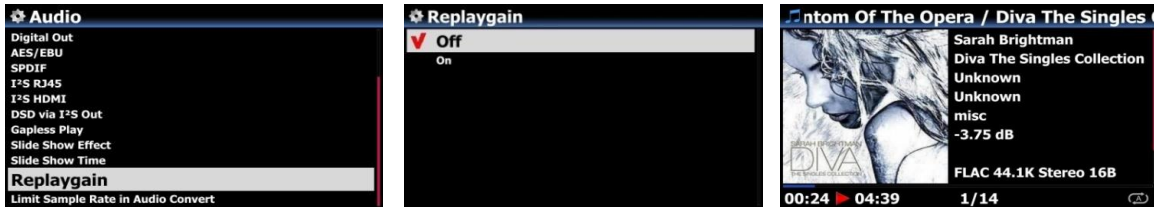
※初期設定:OFF

3) SETUP (Setup> Audio> Replaygain ※初期設定:OFF+(-)### dB で、リプレイゲインをオンに設定する必要があります。

リプレイゲイン情報を持つファイルを再生すると、ファイルプレイヤー情報の6行目に## dBが表示されます。

4) DSDファイルがPCMデータで再生される場合に限り、DSDファイルは再生機能で使用可能です。

5) MQAファイルはReplaygain機能では使用できません。



8-3 各音楽ファイル(トラック)のメタデータに「再生情報」を書き込む(追加する)方法



- ① 目的のアルバムまたはトラックリストにカーソルを置きます。
→キーで複数のリストを選択できます。



- ② MENUキーを押して[ファイル操作]をクリックし、リプレイゲインを開始します。



- ③ デバイスは、選択した全ての音楽ファイルに、新しく再生ゲイン情報を書き込みます。



- ④ 書き込みが終了し、一覧画面に戻ります。

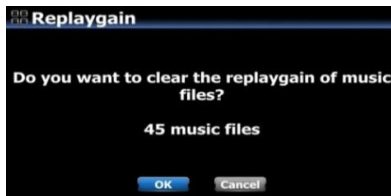
8-4 各音楽ファイル(トラック)のメタデータから「Replaygain info」を消去する方法



- ① 選択するアルバムまたはトラックリストにカーソルを置きます。
→キーで複数のリストを選択できます。



- ② メニューキーを押して[File Operations]をクリックすると、[Clear Replaygain]が表示されます。クリックすると確認画面を表示します。



- ③ 全てのファイルのメタデータから「再生情報」を消去するには、「OK」をクリックします。「キャンセル」をクリックするかRETURNキーを押すと、このプロセスは中止されます。



- ④ リプレイゲインのクリアが終了して一覧画面に戻ります。

9 オーディオCD書き込み時のCD-Textサポート

cocktail Audioには オーディオCD書き込み機能があり、オーディオCDを作成すると、アルバム名やトラック名などのCDメタデータも追加されます。

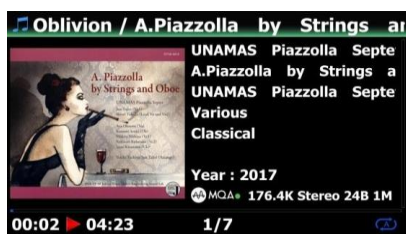
これまで: CD-Textを使わずにオーディオCDを焼き付ける



新機能: CDテキスト付きのオーディオCDを作成する



10 MQA CDをサポート



MQA CDを完全にサポートするようにしました。
MQA CDをより優れた音質で楽しめます。

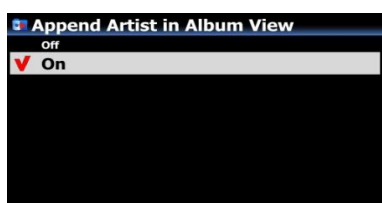
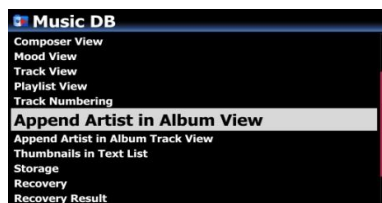
※ MQA CDは既に入手可能

MQA CDの再生画面

11 アルバム名の最後に 'Artist'を追加するオプション

このオプションをONに設定すると、アルバム名はアルバム名の最後にアーティスト名を表示します。

※ 初期設定: ON



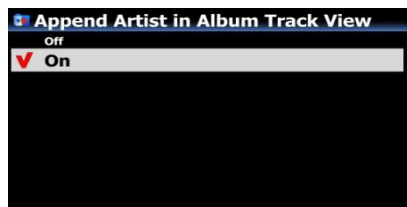
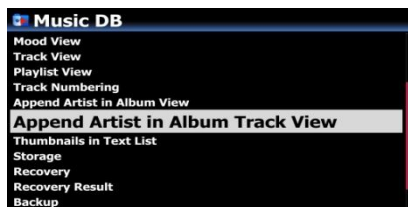
※ 新しいファームウェアでアップデートした後は、
セットアップで「リカバリ」機能を実行してください。

そうすることで、この機能が既存のMusicDBで
正しく機能するようになります。

12 アルバムの各トラックの末尾に「トラックアーティスト」を追加するオプション

このオプションがオンに設定されている場合、トラックアーティストはアルバムの各トラックの最後に追加されます。

※ 初期設定: ON

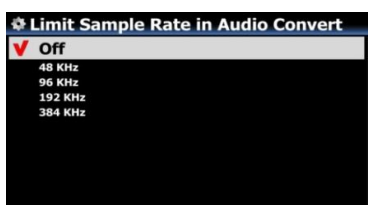
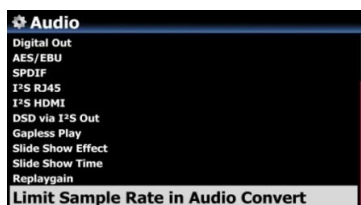


※ 新しいファームウェアで更新した後、この機
能が既存のMusicDBに対して正しく機能する
ように、
セットアップでMusicDBのリカバリー機能を実
行してください。

13 音声変換機能でサンプルレートを制限するオプション

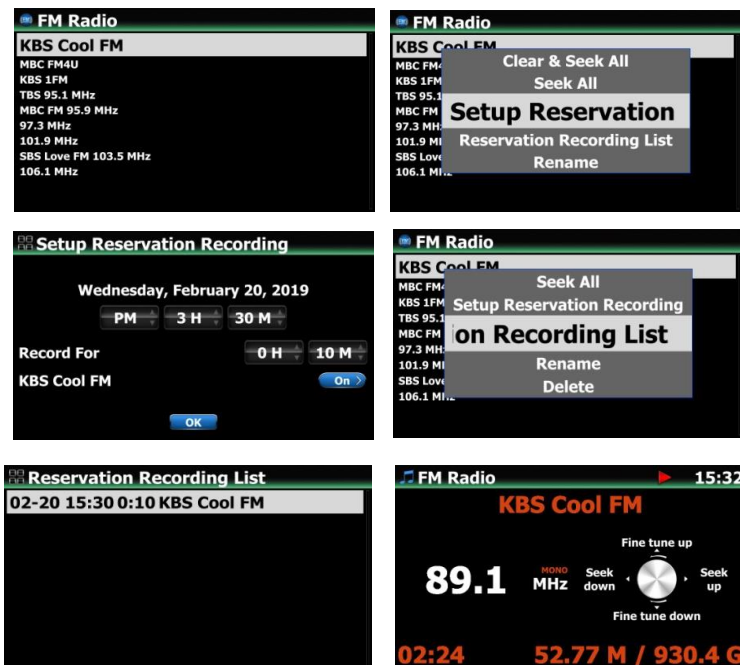
音楽ファイルを別のファイル形式に変換するときは、最大サンプルレートを選択できます。

※ 初期設定: OFF



※ OFFは、オリジナルのサンプルレートが変換
されたファイルに適用されることを意味します。

14 「DAB +」とFMラジオに予約録画機能を追加



- ① 録音したい放送局にカーソルを合わせます。
- ② 左のようにポップアップメニューウィンドウを開くには、「MENU」キーを押してください。
- ③ 設定画面で日付、時刻などを入力し、「OK」キーで 確定してください。
- ④ 予約リストを確認するには、ステーションリストで MENUキーを押し、予約録画リストを選択して左のような録画リストを表示します。
- ⑤ 設定した時間になると、デバイスは録画を開始します。

15 リッピングタグ編集画面にタグ情報のソース (Gracenote、Free DB、CD-Text) を表示する

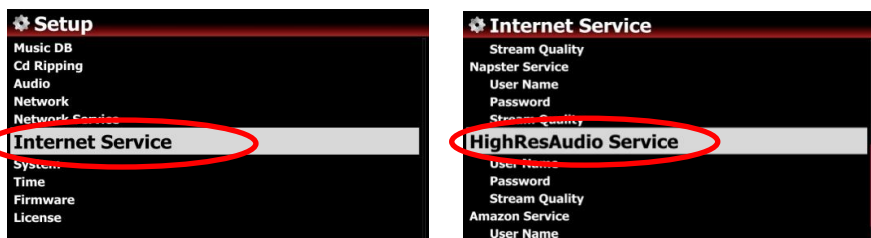


16 アルバムにマルチアーティスト、アルバム - アーティストがある場合は、タグ編集ウィンドウに「アルバムアーティスト」項目を追加します



17 インターネットストリーミングサービスに「High-Res Audio」と「Amazon Music」を追加

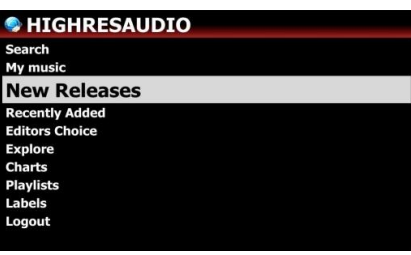
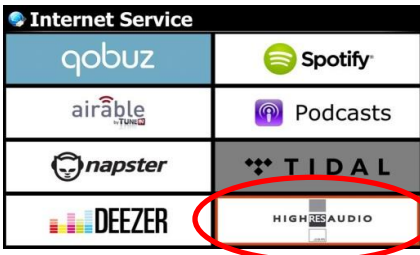
17-1. 'High-ResAudio' サービスの有効化



- ① Setup>Internet Service で 'HighResAudio Service' を選択します。



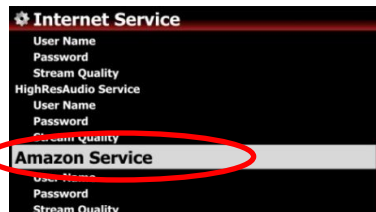
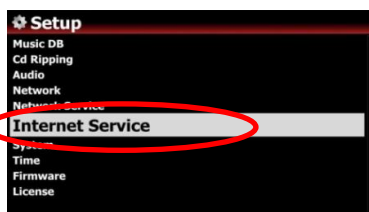
- ② 'On' にチェックを入れ HighResAudio アカウントのユーザー名、パスワードを入力し、'OK' を選択します。



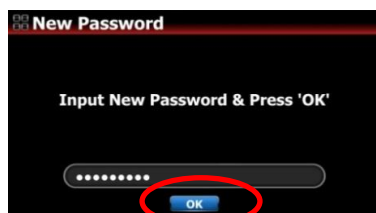
- ③ Internet Service の画面で HighResAudio が有効になったことを確認できます。
- ④ HighResAudio を選択すると様々なサービスのメニューが表示されます。

17-2. 'Amazon Music'サービスの有効化

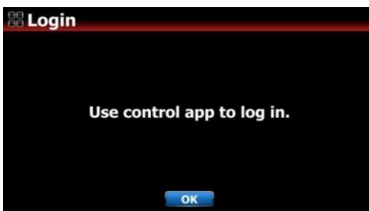
'Amazon Music' を楽しむには2段階の認証が必要です。その一つはカクテルオーディオ上、もう一つはスマートフォンなどのコントロールアプリのデバイスです。



- ① Setup>Internet Service で 'Amazon Service' を選択します。

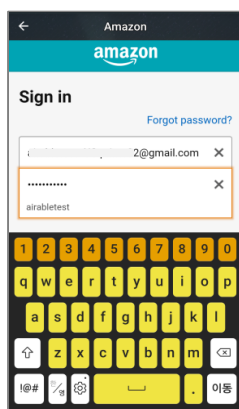
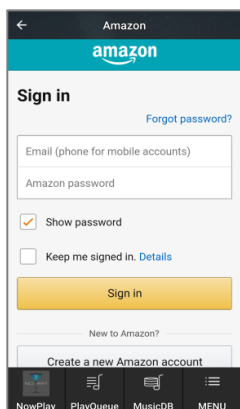
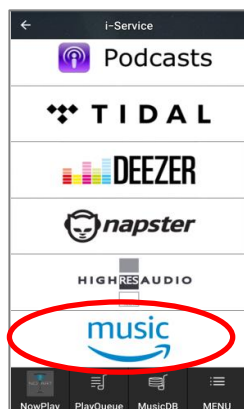


- ② 'On' にチェックを入れ Amazon Music アカウントのユーザー名、パスワードを入力し、'OK' を選択します。

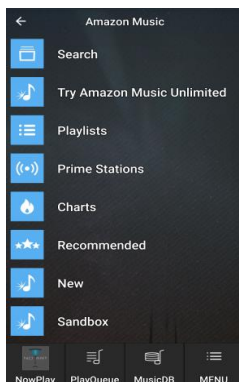
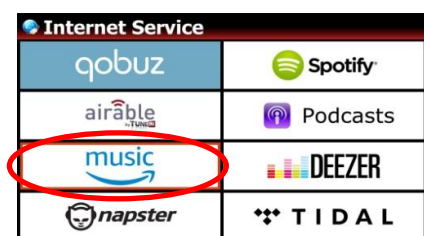


- ③ カクテルオーディオだけで Amazon Music にログインし、動作させようとすると、左記のようなエラーメッセージが表示されます。
- ④ コントロールデバイスのコントロールアプリ (MusicX アプリ) に2つ目のログインをしてください。

※ 注意 : Amazon Music Service に2つ目のログインをするには、MusicX アプリのバージョン 1.3.2 以上のインストール (アップデート) が必要です。



- ⑤ MusicXアプリ上のAmazon Musicアイコンをタッチします。
- ⑥ 'Sign in'の画面が現れます。
- ⑦ Amazon Musicアカウントのユーザー名、パスワードを入力し、'OK'を選択します



- ⑧ カクテルオーディオおよびMusicXアプリ上でAmazon Musicが有効になったことを確認できます。
- ⑨ Amazon Musicロゴをタッチすると様々なサービスのメニューが表示されます。

B.改善点

1 カバーアートモードで選択したアルバムを大きく表示します



選択したカバーアートのリストをより一層大きくして見やすくしました。

2 Spotify ConnectのPickerメニューでデバイス名の文字が壊れることがあるというバグを解消

3 英国製「Smarthub BT Hub6」ルーターが正しく動作するように改善

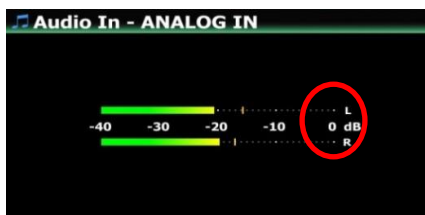
4 ファイル名に '/' のような特殊文字が含まれていると、エクスポート機能が正しく動作しないというバグを解消

5 Spotify Connect機能でギャップレスプレイが正しく動作しないバグを解消

6 特定のインターネットラジオ局の切断問題を改善しました

7 Time Server'をより安定した新しいものに変更しました

8 下図のように、左/右チャンネルを区別するために入力画面にL / R文字を表示



9 ファイルの再生時に、一部(約0.5秒)がカットされるというバグを解消

10 既にリッピングしたCDをリッピングしようとした時、一部のCDに表示されなかった確認メッセージ

「既にリッピングされました。リッピングしたいですか？」を表示するように改善しました



11 UPnPで他のCA機器のプレイリストを開いた場合、曲の順番がMusicDBの順番に従うように、

オリジナルのプレイリストの順番で並ぶようになりました

12 ギャップレスの「オン」で再生した時、非常に短いファイルが次のファイルに入らないというバグを解消しまし

13 Music DBタグ編集ウィンドウのカテゴリ欄(タイトル、アルバム、アーティスト、作曲者名など)に最大246文字入力できるようになりました(以前は128文字まで)

14 ワイヤレスセットアップ中に各Wifi APの信号強度アイコンを表示するように改善しました



15 CAF形式の記録ファイルで再生すると、左右のチャンネルが入れ替わるというバグを解消

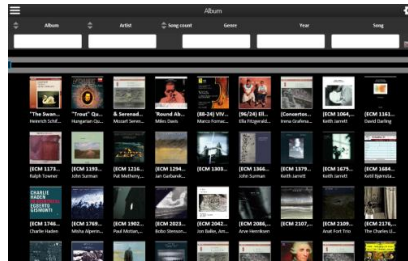
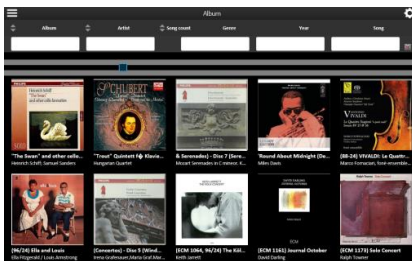
- 16 [既にカバーアートがあるアルバムでも、Gracenote Coverからアルバムカバーアートを入手できるようにしました](#)
- 17 [フロントUSBポート「USB1」とレアUSBポート「USB2」と「USB3」に、それぞれ右側から始まる固定USBホストポート番号を割り当てました](#)
- 18 [DSD NativeまたはDSD DOPでUSBオーディオ出力を介して、DSDファイルを再生しているときに音量を調整しようとすると、「音量を調整できません」というポップアップメッセージが画面に表示されるようになりました。](#)



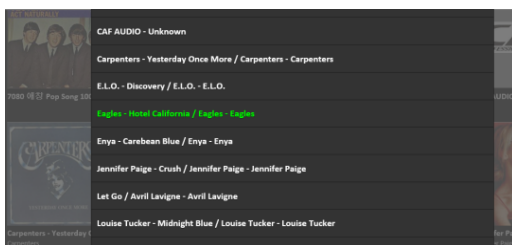
- 19 [OSD言語を「日本語」に設定した場合、RAID設定でRAID 1\(ミラー\)モードを選択することはできません](#)
- 20 [Qobuzで特定のアルバムを検索し再生すると、デバイスが再起動されるというバグを解消しました](#)

[Web Interface]

- 21 [カバーアートのソースがWeb Interfaceで正しく機能するように改善されました](#)
- 22 [Web Interfaceのスライダーでアルバムカバーアートのサイズのコントロール機能を元に戻せるようにしました](#)



- 23 [Web Interfaceで2枚のCDを1枚にマージするときに、選択したアルバムの名前がアルバムヘルプリストに緑色で表示されるようになりました。](#)



- 24 [Webインターフェイスのブラウザでフォルダ内のいくつかのトラックを選択しても、フォルダ内の全てのトラックが再生されるというバグが解消されました](#)
- 25 [ストレージの検出とマウントに関連するコード\(ソフトウェア\)の微調整](#)